

第二中学校だより

⑨ ひらく

No. 2

令和6年6月19日

(館林市立第二中学校 TEL 72-4074・FAX 72-4084)

二中ジュニアオリンピック 学級の絆を深めた一日でした

5月21日二中ジュニアオリンピックを開催しました。

午前中は個人の記録を競う内容で、午後は綱引きとチームジャンプで学級の団結力と練習の成果を発揮する競技でした。

コロナ禍では出せなかった大きな声の応援など大変盛り上がり、全校で楽しさを共有しました。また、生徒会本部役員、体育委員、放送委員など多くの生徒が、大会の準備から当日の運営までを支えていました。

保護者の皆様のたくさんの応援、ありがとうございました。



3年生のコメント

中学校最後のJO、最高の思い出になりました。最も思い出に残ったのはチームジャンプです。炎天下の中、喉がからからで、身体が今にも倒れそうくらいでしたが、一人の仲間の「最後まで頑張れ!」「あきらめるな!」というかけ声で、学級の最高記録まで頑張れました。「友情は、優勝と同じ価値がある」と思ったJOでした。

地震想定避難訓練

今年度初めての避難訓練は、どの授業中に行うかを予告せずに行いました。訓練では3分7秒で全校生徒の避難が終了しました。また、避難後には、50名の生徒が煙の中を避難する体験も行いました。実際の火事では、「煙を



ひと吸いすると死につながってしまう」というお話を伺い、煙を吸わないようにする判断の大切さを学びました。また、福島県出身の職員に、2011年東北大地震発生時の体験談や、「地震発生時には自分だけでなく、家族や周りの人も一緒に逃げることを考えてほしい」という実感のこもったお話も伺いました。



コミュニティ・スクール情報

第2回オンライン朝会（キャリア教育）

第2回オンライン朝会のゲストティーチャーは、篠原久美子先生です。篠原先生は、現在群馬県働き方アドバイザーとして、多くの企業に関わるお仕事で活躍しています。

篠原先生は、英語が好きで英語を使った色々な経験をしています。大学卒業後は、ツアーコンダクターや中学校英語教師の経験があります。そして、40歳でビジネススクールに通ったことが転機になって、やりたいことを積極的に取り組んでいくようになったとのことでした。また、東京オリンピックでは、通訳の仕事を通して、「多くの方との出会いの輪が広がった」というお話も伺いました。

<中学生に伝えたいこと>

WANT(やりたいこと) LIKE(好きなこと) NEED(必要とされること) この3つが重なっているところが「夢中になれること」

- 夢中になれることを見つける
- 人との出会いを大切に



プッシュ講習会（心肺蘇生講習会）

5月29日今年度も慶友整形外科病院さんのご協力を得て全校生徒がプッシュ講習会に参加し、人が倒れている時にどのように対応すればよいか、どのようにすることが命を救う最善の方法かを学びました。中学生のこの時期、毎年実際に道具を使って心肺蘇生法を学ぶことは、これからの人生において大変重要なことではないかと考えています。

今年は保護者様の参加もありました。



地域クリーン大作戦！！with二中



6月6日学校区の各地域10箇所生徒と地域の方が一緒になって、清掃活動を行いました。今回の企画は生徒会が2月の学校運営協議会で提案し、4月から実施に向けて計画を綿密に立て、2か月間準備を行ってきました。生徒会役員生徒が区長さんに連絡を取り、地域用のポスターを作成して配りました。また、校内では生徒総会で会長から目的を全校に伝えたり、各地区に3年生の班長を決めて、班長に当日の流れを伝えたりするなど、生徒会が企画から運営まで全てを進めました。

当日は90人もの地域の方と一緒に交流を図りながら、清掃活動を進めることができました。



地域からは、「交流ができて楽しかった」や「草がたくさんあった道路がすっかりきれいになった」という、温かい言葉をいただきました。

生徒会長のコメント

「私たち二中では、新しい行事『地域クリーン大作戦！！with二中』という清掃活動を行うことができました。地域の方々と全校生徒とが協力して、自分が住んでいる地域をきれいにすることができました。また、地域の方々とたくさんコミュニケーションをとることもできました。

全校生徒のみんなが地域に貢献できたことは、嬉しかったです。このような企画がずっと続いていけたらと思います。」

